



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユビキタス
コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 勝大
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 長谷川 聡

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	759	—	△275	—	△275	—	△298	—
28年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △289百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△28.73	—
28年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第3四半期の数値及び前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,846	2,706	94.7
28年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,694百万円 28年3月期 一百万円

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	0.00	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	0.00	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,150	—	△270	—	△270	—	△310	—	△29.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社エイム、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	10,414,300 株	28年3月期	10,387,700 株
29年3月期3Q	— 株	28年3月期	— 株
29年3月期3Q	10,401,583 株	28年3月期3Q	10,060,194 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

(注)この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における売上高は759,535千円、平成28年5月13日発表の通期業績予想を修正した平成29年2月6日発表の通期業績予想に対し66.0%の達成率となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして従来の「コネクティビティ事業」、「組込みソフトウェア事業」に「ソフトウェアサービス事業」を加え、次の3つのセグメントに変更いたしました。

「コネクティビティ事業」は、株式会社ユビキタスにおける、Internet of Things(モノのインターネット)向けの組込みネットワークソフトウェア及びセキュリティ関連ソフトウェア製品、ハードウェア製品、クラウドサービス及びこれらを組み合わせたソリューションの開発、製造、販売及び提供に関するセグメントとなります。

「組込みソフトウェア事業」は、株式会社ユビキタスにおける、データベース関連、高速起動関連等のデバイス組込み用ソフトウェアの単一製品の開発及び販売に関するセグメントとなります。

「ソフトウェアサービス事業」は、第1四半期連結会計期間より当社の連結子会社となった株式会社エムにおける、組込みソフトウェア等各種ソフトウェアの設計、開発、及びデータコンテンツのライセンス販売等に関するセグメントとなります。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	分野	当第3四半期連結累計期間	
		売上高(注) (千円)	売上割合 (%)
コネクティビティ事業	組込みネットワーク関連	171,915	22.6
	サービス&ソリューション関連	78,673	10.4
	小計	250,589	33.0
組込みソフトウェア事業	データベース関連	84,627	11.1
	高速起動関連	140,177	18.5
	小計	224,805	29.6
ソフトウェアサービス事業		284,140	37.4
合計		759,535	100.0

(注) 売上高は、セグメント間取引を消去しております。

■コネクティビティ事業

組込みネットワーク関連では、「Ubiquitous ECHONET Lite」、「Ubiquitous Wi-SMART」について、受託開発を含めたスマートメーター関連の案件を受注、一部売上を計上しました。「Ubiquitous DTCP-IP」、

「Ubiquitous Wi-Fi Direct」等について、主に既存顧客向けに受託開発売上、ロイヤルティ等を計上し、また、第2四半期連結累計期間に引き続き、半導体メーカーとの共同研究プロジェクトに関する受託開発売上を計上いたしました。

なお、平成28年11月には、「Ubiquitous Wi-SMART」が株式会社村田製作所の920MHz帯無線通信モジュールに採用され、HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)機器開発コンポーネントの対応を拡充されたことを発表いたしました。

サービス&ソリューション関連は、電力事業者へのHEMS関連サービスの受託開発売上等を中心に計上いたしました。

協業パートナーと共同開発した高機能HEMSゲートウェイ機器の市場投入等で上期の未達部分を挽回するべく販売活動をしておりますが、機器製造の遅延もあり、当期の売上貢献は限定的となる見込みです。来期の早い時期からの販売が可能となるため、来期の売上貢献を期待しております。

■組込みソフトウェア事業

データベース関連は、既存顧客向けのロイヤルティ売上等を中心に計上いたしました。

なお、平成28年11月には、64ビットOS環境への対応を強化した「Ubiquitous DeviceSQL 5.2」を発売したことを発表いたしました。

高速起動関連は、車載機器の既存顧客からのロイヤルティ売上等を中心に計上いたしました。既存顧客の搭載製品の出荷が堅調さを維持しており、売上に貢献しております。

引き続きカーナビゲーションシステム等車載向けの端末において、複数社との間で大・中規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続しており、また、海外顧客として一般消費者向け電子機器新規案件の評価実装なども行っており、収益化に向けて対応を進めております。

なお、平成28年11月には、「Ubiquitous QuickBoot」がより高速化し、64ビット、SecureBoot対応をはじめ車載向けに機能強化し、ルネサスエレクトロニクス株式会社の最新車載コンピューティング・プラットフォームR-Car H3/M3に対応したことを発表いたしました。

■ソフトウェアサービス事業

ソフトウェアサービス事業には、既存顧客との各種受託開発売上、車載機器向けの「YOMIデータ」コンテンツに関するライセンス使用料売上等を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高759,535千円、営業損失275,655千円、経常損失275,503千円、親会社株主に帰属する四半期純損失298,843千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,199,876千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金879,666千円、有価証券1,099,962千円であります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、646,898千円となりました。その主な内訳は、のれん441,297千円、投資有価証券123,123千円であります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、104,310千円となりました。その主な内訳は、未払金37,844千円、未払法人税等20,176千円であります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、36,195千円となりました。その主な内訳は、資産除去債務25,241千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、2,706,269千円となりました。その主な内訳は、資本金1,466,547千円、資本剰余金1,436,547千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、平成28年5月13日付「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」及び平成28年5月13日付「平成28年3月期決算短信(非連結)」において公表した平成29年3月期の通期業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、平成29年2月6日公表の「平成29年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、株式会社エイムの株式を取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成28年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	879,666
売掛金	173,314
有価証券	1,099,962
商品及び製品	622
仕掛品	14,618
前払費用	18,964
その他	12,727
流動資産合計	2,199,876
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	1,053
工具、器具及び備品(純額)	1,094
車両運搬具(純額)	1,682
有形固定資産合計	3,830
無形固定資産	
ソフトウェア	32,662
のれん	441,297
無形固定資産合計	473,959
投資その他の資産	
投資有価証券	123,123
差入保証金	41,501
その他	4,483
投資その他の資産合計	169,108
固定資産合計	646,898
資産合計	2,846,775
負債の部	
流動負債	
買掛金	6,955
未払金	37,844
未払費用	14,872
未払法人税等	20,176
その他	24,462
流動負債合計	104,310
固定負債	
繰延税金負債	10,954
資産除去債務	25,241
固定負債合計	36,195
負債合計	140,506
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,466,547
資本剰余金	1,436,547
利益剰余金	△240,879
自己株式	△52
株主資本合計	2,662,163
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	32,809
その他の包括利益累計額合計	32,809
新株予約権	11,295
純資産合計	2,706,269
負債純資産合計	2,846,775

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	759,535
売上原価	412,034
売上総利益	347,501
販売費及び一般管理費	
役員報酬	68,112
給料及び手当	200,104
法定福利費	31,690
広告宣伝費	17,134
減価償却費	392
不動産賃借料	21,598
支払手数料	61,697
のれん償却額	77,876
消耗品費	3,220
研究開発費	79,170
その他	62,158
販売費及び一般管理費合計	623,157
営業損失(△)	△275,655
営業外収益	
受取利息	1,989
受取配当金	1,342
雑収入	131
営業外収益合計	3,463
営業外費用	
支払利息	151
為替差損	3,160
営業外費用合計	3,311
経常損失(△)	△275,503
特別利益	
新株予約権戻入益	577
投資有価証券売却益	937
特別利益合計	1,514
特別損失	
減損損失	1,449
投資有価証券売却損	1,800
特別損失合計	3,249
税金等調整前四半期純損失(△)	△277,238
法人税、住民税及び事業税	15,921
法人税等調整額	5,683
法人税等合計	21,604
四半期純損失(△)	△298,843
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△298,843

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△298,843
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	9,605
その他の包括利益合計	9,605
四半期包括利益	△289,237
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△289,237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。